

とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鳥取国際通信 Bản tin quốc tế Tottori

No.152



目次 Contents / 目录 / Mục lục

表紙 Photo

● TPIEFだより

- 医療・コミュニティ通訳ボランティア講座(入門編) 02
- 「知りたい」から「つながり」に
- 防災出前講座(防災勉強会)ご案内
- 財団の新しい仲間の紹介 03
- くらよし国際交流フェスティバル2026参加団体を募集します!!
- 令和8年度国際交流フェスティバルのご案内

● 特集 ブラジル日系社会の今

- 外国人の暮らしのサポート!身近な場所へ伺います 04
- 多文化共生サポーターの紹介 05
- JICA海外協力隊2026年秋募集

● 英語版・中国語版・ベトナム語版ダイジェスト 06・07

Information in English, Chinese and Vietnamese
英文版・中文版文摘・越语版
Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt

● 賛助会員募集のご案内 08

● ワールドレシピ

「多文化共生出前講座」 ベトナム編

Multicultural Outreach Course:
Vietnamese Edition

“多元文化共生出前講座”越南篇

Chương trình giảng dạy tại chỗ về chung sống đa văn hóa
- Chủ đề Việt Nam



発
行
者
名

公益財団法人

鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取県国際交流財団
Ủy Giao Lưu Quốc Tế Tỉnh Tottori (Cơ quan công ích)

「第二アリアンサ鳥取村入植100周年」 「ブラジル鳥取県人会75周年」の節目の年

鳥取県では、ブラジルから専門機関で研修する研修員と県内の大学で専門分野を学ぶ留学生を受け入れています。また、ブラジル日系社会と鳥取県の架け橋となる研修や交流が期待される中で、今年は「第二アリアンサ鳥取村入植100周年」「ブラジル鳥取県人会75周年」の節目の年になります。

今回は、ブラジルから来県している2人と鳥取県から現地に派遣されている日本語教師が、ブラジル鳥取県人会や第二アリアンサ鳥取村について紹介します。

私が紹介します!



鳥取県ブラジル交流推進事業
県費留学生
田村 マテウスさん

研修分野: 医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野 (精神科)
研修期間: 2026年5月～2027年3月

～わたしが鳥取県に来た理由～

祖父は、昭和4年に鳥取県からブラジルに渡りました。祖父が生まれ育った鳥取県を知りたい気持ちとブラジルに帰ってから、県人会のみんなに文化や経験したことを伝えたいと思ったからです。わたしは、文化や歴史に興味があるので、調べることができるチャンスに恵まれました。米子に到着した時から、みなさんがとてもやさしく鳥取県に来ることができて嬉しいです。

日本や鳥取県に来ることは私の夢でしたので、みなさんに感謝しています。



▲鳥取県人会ブース



▲令和5年度海外技術研修員エッジさんが作製 (研修した技術を活かして鳥取をPRしています)

ブラジル鳥取県人会では、鳥取県の文化を広めています。週2回しゃんしゃん傘踊りの練習をしています。



▲傘踊りの練習

私が紹介します!



鳥取県ブラジル交流推進事業
海外技術研修員
福田 ジュリアさん

研修分野: 化学・環境
研修期間: 2026年6月～2027年3月

～わたしが鳥取県に来た理由～

ブラジルにいても日本の情報を知ることができますが、鳥取県の生活や文化、習慣を自分で確かめたかったからです。また、研修先でも専門的な知識を広げられたからです。

曾祖父が鳥取県にルーツがあるので、ここで何をしていたのかなと鳥取市内を歩きながら想像すると特別な気持ちになります。

鳥取県人会で引き続き活動するためにも、鳥取県に来る意味があると思います。鳥取県とブラジルの友好が続いていくことを願っています。

行事にかかせない MOCHIYORI(持ち寄り)料理



ブラジル日系社会でも、運動会や新年会、忘年会、七夕まつりなど楽しいイベントがあります。

イベントでは、日本料理(大山おこわ、つけもの、まんじゅうなど)やブラジル料理(コシーニャ(コロッケ)、パステル(揚げ餃子)など)を「MOCHIYORI(持ち寄り)」という言葉でみんなが集まり文化が継承されています。



▲ブラジルで受け継がれる大山おこわ

ブラジルについて、もっと知りたい方は「とっとり国際交流フェスティバル2026」にご参加ください。



第二アリアンサ鳥取村より

第二アリアンサ鳥取村 日本語教師 西澤 伸之さん

第二アリアンサ鳥取村は、2026年に入植100周年という大きな節目を迎えました。日本人移住者の歴史や文化が今も息づく一方、少子化や世代交代が進む中、家庭内で日本語を使う機会は減少しており、日本語継承は大きな課題となっています。

しかし、子どもたちはアニメや折り紙などの日本文化に親しみを持ち、日本語で話せることが増えるたびに、うれしそうに会話を楽しむ姿が見られます。任期中は、しゃんしゃん傘踊りや淀江さんご節など、鳥取の文化に触れる機会を増やすとともに、鳥取県の学校とのオンライン交流を進めていきます。子どもたちが自然に日本語に親しめる環境づくりに取り組み、日本とブラジルの交流を深めていきます。

※平成6年、第二アリアンサ鳥取村日本語学校への教員派遣事業を開始。



日本語指導員派遣の概要は、
こちらをご覧ください。

第二アリアンサ 鳥取村とは?

1926年、ブラジルサンパウロ州の奥地に鳥取県出身者が開拓した村を第二アリアンサ鳥取村という。「アリアンサ」とは、ポルトガル語で「協同・同盟」を意味する。